

地域に根ざし、地域と共に歩む楽しい学校

小浜市立 今富小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	8回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティチャー	10人
授業ボランティア	93人
登下校支援ボランティア	1,486人
その他（遠足）	14人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」～地域とつながり、深まる絆～

2 具体的活動内容

今年度、本校では「ふるさと学習」を重視し、ふるさと今富に根付いた活動を行うこととした。地域・学校協議会のメンバーに意見をいただきながら協力をお願いした。

一防災教育：地域の災害を学ぶー

昭和28年、今富地区は台風13号の直撃を受けた。学校の傍を流れる南川の堤防が決壊し甚大なる被害を被った。しかし、60年以上の歳月が流れると、記憶に留める人が少なくなり語られなくなりつつあるのが現実である。今富地区に生きる人間として、決して忘れてはならない災害であり、後世へ伝えていくべきものであると考えた。

本年度は、6年生の総合的な学習の時間において、防災教育に取り組んだ。災害を体験された方の高齢化が進み、家屋も新しくなり、災害のあとを見出すことも難しくなっている。地域・学校協議会のメンバーの協力を得て地域学習が始まった。

＜公民館のフィールドワーク支援＞

- ・ 災害の語り部探し
- ・ 子どもとの話し合いの場作り
- ・ 災害の痕跡のある家探し等



＜県外地元出身者からの支援＞

3, 11「東日本大震災」の後ということもあり、子どもたちには是非防災について学んでほしいという熱い思いが手紙や資料として届く。大阪から帰省された折に、担任と打ち合わせを綿密に行い、子どもたちへの講義も実施できた。

＜学びを共有する＞

3学期には、保護者や地域・学校協議会の方を招いて、学習発表会の開催も行うことができた。今までの学びを真剣に保護者に説明する子どもたちの姿が印象的であった。



3 成果と課題

学校が、しっかりとしたねらいを持つことにより、協力体制が得られやすい。地域学習は、教職員が地域をよく知らないに進められないので、地域の人材を講師として迎え研修を行ったことは意義があった。また、地域・学校協議会や地元各関係機関との良好な関係づくりに気を配っておくことや、地域のニーズを把握しておくことも大切である。

